

倫敦より

倉 橋 惣 三

この書簡は在英の倉橋主幹が湯原先生に宛てた私信ですが、其の大部をお許しを得てこゝに載せること致しました。

「……アメリカは勿論、殊に英國が近時幼児保護の問題に力を注いで居ることは、驚嘆すべきものがあります。當國衛生省の方の案内や紹介で、いろいろその方の視察を致して、絶えずいろいろの事を考へさせて貰ります。實際いくらでも問題はあるのでござります。昨日も産後虛弱の母親と赤坊（貧民の）とのために暫く逗留させて静養を與へるところをロンドンから二時間ばかりの田舎へ見に行つて参りました。我國のために實行したいこと、幼児達のためにしてやりたいことが、際限ない位であります。

急務はこれらの事業に從事する人達を組織的に養成することです。我國にこの完全な設備の出來ない中は、我國の児童保護事業は本當のものにはなりますまい。これは児童保護にかぎらず、一般社會事業從事者の養成機關といふ問題の中に含まるべきことであります。アメリカや英國のその施設を見て、また、時にはその生徒になつて見たりしまして、その必要をしみじみ感じてゐます。大規模に小規模に私も腹案がありますが、兎に角、是非その實現をしなければならぬと思つて居ります。實にじつとしてゐられないような氣がして参ります。

○
この七月十八日から四日間グラッセルで開催される第二回児童保護萬國會議に參列すべしといふ電命を受けました。新聞によりますと、内務省からも代議員が派遣せられる様です、私のはどういふ方面なのかと思つて居りますが、何れにせよ誠によき機

會と喜んで居ります。此の會議は極めて問題の範圍の度は一般兒童問題で、少年犯罪問題、異常兒問題、兒童社會衛生問題、戰爭孤兒問題等を包括して居ります。多くの有益な参考を得ることと思つて居ります。こちらでは、駐英ベルギー大使が大に力を入れて盡力して居るのと、英國からその會へ行く委員が出來て居りますので、是等から便宜を得て居ります。

それから、これは世界的會合ではありませんが、英國、米國、英國諸殖民地からなる所謂 イングリッシュ・スピーチングの幼兒保護會議が英國主及女王のバトロ子一子の下に此の七月五日から三日間ロンドンに開かれます。これは特に招待されて居りますので、出席する豫定で居りますが、これもまた有益のものと思ひます。二つとも丁度よい機會だと思つて居ります。

○

今日は面白い日で御坐いました。午前は前に申上た幼兒保護聯合本部へ参り午後はロンドン大學の女子カレッジを參觀に行き、夕方からは成年者教育世界協會の茶話會によばれてゆきました。これは、御承知のごとく労働者のための教育事業が、この國と

しても、まだ新しい方の社會的教育運動であります。世界協會といふのは、ふに在インスター・ナショナルに聯絡して行かうといふので、今夕集まつた人達の中にも、チニコ・スロバック人、オーストラリヤ人、ポーランド人、ロシヤ人、デンマーク人、といった風に小さい茶話會ながら鶴くべき世界的のものであります。その半數餘か婦人の著目すべきこと——この國としては何でもありませんが——ありました。その婦人達も勿論よく話しました。

春の末から夏にかけて英國の氣候のいゝには驚きました。六月といふのに、大した暑いことはありませんのみか、夏中大體こんなものだといふ話ですから羨ましくなります、それに日の永いこと、此頃でも九時過ぎ迄は全く明るいといつていゝ位です。まだ、ツワイトライトがながらくなるのださうです。その夕方は、殊に涼しい長いツワイトライトを、軽い白い運動服で、若い男女が毛庇を敷いた様な青いローブの上で、テニスをして遊んでゐるのは、見てゐるだけでもいゝ心持ちです。これだけでも神經のおつとりした、穏かにゆつたりした英國人の氣質が養はれる譯だと考へて見たりします。

○

しかも、この長閑な背遊びの後ろには、コールス・ライキが二ヶ月近くも續いてゐるのであります。工業の停止、アンエンブロイメント、労働者家庭の饑餓、鐵道の日増しの運轉數減少、臺所の石炭缺乏、燈火の節約、があるのです。英國人氣質は昔ながらでせうが、近世產業組織は遠慮なくその實相をあらはして來て居るようです。社會は變つて來ても英國人は、長閑に戶外遊戯に餘念ないのです。——見物人だけが手を組んでみたり頭をおさへて見たりして考へておられます。(六月七日夜、ロンドンにて)